



6/14(日) てだこ市民大学第7期生入学式

6月14日(日)、平成27年度てだこ市民大学入学式が市役所9階講堂で行われました。

今年度「健康福祉・スポーツ振興学部」12人、「文化振興・教養学部」11人、「地域・学校支援学部」5人の計28人は、2年間の学びへの期待と喜びを胸に秘め、入学しました。

新入生を代表し和田瑞希さんは「てだこ市民大学に入学して、浦添市のことをもっと知りたい、浦添市を引っ張れるキーパーソンになりたい」と、入学する意気込みを語っていました。



7/11(土) まちづくりプラン賞 表彰式

7月11日(土)、まちづくりプラン賞を受賞した各団体への表彰式が市役所9階講堂で行われました。

今年度は、市制45周年記念事業として応募対象や助成額が広がり、まちづくりプランコース13団体と夢応援プランコース11団体の計24団体が受賞しました。

市がより活性化する内容のプロジェクトとなっており、「てだこの都市・浦添」の実現に向け、活動が実施されます。

受賞団体の詳しい活動内容につきましては、広報『うらそえ』今月号の5ページをご覧ください。



6/24(水)『浦添市移民史 本編』刊行について

6月24日(水)、『浦添市移民史 本編』刊行について市長報告が行われました。

市教育委員会では、『浦添市移民史 本編』を平成27年3月に刊行しました。

この『浦添市移民史』の特徴は、浦添を離れた海外移民・移住や出稼ぎ等だけでなく、戦後の混乱した時期に県内外から浦添に移り住み、浦添の発展に関わった移住者にもスポットをあてているところです。市立図書館、市内小中学校の図書館及び各自治会へ配布しておりますので、ぜひご覧ください。



7/6(月) 浦添てだこまつりポスター感謝状贈呈式

7月6日(月)、第38回浦添てだこまつりのポスターに決定した浦添工業高校デザイン科、山城のぞみさん(写真中央)に感謝状が贈呈されました。

山城さんは作品のコンセプトとして「てだこまつり」と言えば、花火を連想するので、子どもが花火を見上げて喜んでいる姿、また、三大王統が一緒にてだこまつりを楽しんで皆が盛り上がっている姿をイメージして描いた」と話しました。

優秀デザインには、親田栞さん(写真右)、津波古安美(写真左)さんが選ばれました。

市長は「素晴らしいポスターデザインの提供、ご協力ありがとうございました」と感謝を述べました。



7/14(火) ふるさとの良さを伝えよう! ~古都・うらそえの宝の風景~

7月14日(火)、浦添小学校4年生の児童が歴史学習の一環で浦添グスク・仲間ムラ探検を行いました。

浦添グスク(史跡)や仲間ムラ(旧集落・生活)を歩いて、児童が通う小学校が由緒ある地にあり、その歴史的風景(浦添らしさ)を守り育てる意識の醸成を図る目的で行われました。

児童たちは、銘苅校長先生の浦添の歴史にまつわる問いかけに活発に回答しており、探検学習もとても興味津々で楽しそうにしていました。



7/3(金) 社会を明るくする運動メッセージ伝達式

7月3日(金)、中部南保護区保護司会が、内閣総理大臣、県知事、県教育長からのメッセージを市長、市議会議員、市教育長へ伝達しました。

この運動は、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りに理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な社会を築こうとする全国的な運動です。

西銘浦添市支部長は「深夜徘徊や保護の件数も少なくはないが、今後とも行政と協力をしながら、正しい道へと導く活動を続けていきたい」と決意を新たにしていました。



7/2(木) 私たちの思いよ、届け!

7月2日(木)、仲西中学校で「第29回浦添市少年の主張大会」が開催されました。

この大会は、市内の中学生が日常生活で考えていることを社会に意見発表する場で各中学校からの代表9人が堂々と意見発表をしました。

最優秀賞には「人を結ぶ架け橋」と題し、仲西中学校3年生の新里美結さんが選ばれ、優秀賞に神森中学校3年生の大城芽依さん、港川中学校3年生の與那覇三稀さんが選ばれました。

最優秀賞の新里さんは「緊張してうまく話せなかったが、頂点を目指して頑張りたい」と抱負を語りました。3人は9月に開催される那覇地区大会の代表として派遣されます。

